### 平成17年4月期

# 個別財務諸表の概要



平成17年6月14日

上場会社名 株式会社飯田産業 上場取引所 東

コード番号 8880 本社所在都道府県 東京都

(URL <a href="http://www.iidasangyo.co.jp/">http://www.iidasangyo.co.jp/</a>)

代 表 者 代表取締役社長 氏名 森 和彦

問合せ先責任者 取締役執行役員財務部長 氏名 石丸 郁子 TEL (0422)32-8848 決算取締役会開催日 平成17年6月14日 中間配当制度の有無 有

定時株主総会開催日 平成17年7月22日 単元株制度採用の有無有(1単元 100株)

1. 平成17年4月期の業績(平成16年5月1日~平成17年4月30日)

(1)経営成績 (注)記載金額は百万円未満は切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年4月期	101,297 0.2	8,992 20.4	8,508 21.5
16年4月期	101,551 26.2	11,306 41.6	10,850 42.3

ſ		业 404年4月	<del>: 4</del>	1 株当た	<u>-</u> り	潜在株式調整	隆後	株主資本	総資本	売上高
		当期純利益		当期純利益		1 株当たり当期	純利益	当期純利益率	経常利益率	経常利益率
Ī		百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
	17年4月期	4,814	17.6	153	55			18.5	12.8	8.4
	16年4月期	5,846	49.4	185	50			27.1	18.5	10.7

(注) 期中平均株式数

17年4月期

31,355,540株

16年4月期

31,355,600株

会計処理の方法の変更

の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。

### (2)配当状況

		1	株当たり年	間配当:	金		配当金総額	配当性向	株主資本
			中間		期末	₹	(年間)	脱当注的	配当率
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
17年4月期	40	00	20	00	20	00	1,254	26.2	4.5
16年4月期	45	00	25	00	20	00	1,019	17.5	4.2

(注)平成17年4月期期末配当金の内訳

普通配当 20円00銭

### (3)財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株芸	E資本
	百万円	百万円	%	円	銭
17年4月期	73,144	27,756	38.0	885	23
16年4月期	60,336	24,258	40.2	772	69

(注) 期末発行済株式数 期末自己株式数 17年4月期 17年4月期 31,355,540株 460株 16年4月期 16年4月期 31,355,540株 460株

### 2. 平成18年4月期の業績予想(平成17年5月1日~平成18年4月30日)

	ᆂᇉ	<u> </u>	経常利益	业 #84赤	当期純利益			1 株当たり年間配当金			
	売上高	<b>=</b> ]	紅吊利盆	一	削盆	中間	]	期末			
		百万円	百万円	3	百万円	円	銭	円	銭	円	銭
中間期	51,740		4,388	2,306		20	00				
通期	118,800		11,290	6,396				20	00	40	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)

203円99銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料 発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があり ます。

# 6.個別財務諸表等

# (1) 貸借対照表

(1) 負債対無衣			事業年度 6年 4 月30日	`		事業年度 7年4月30日	`	増	減
区分	注記番号	金額(		<i>)</i> 構成比 (%)	金額(		<i>)</i> 構成比 (%)	金額(	———— 千円)
 (資産の部)	田石			(70)			(70)		
流動資産									
1 . 現金及び預金			17,613,339			19,176,780			1,563,440
2 . 売掛金			3,400			278			3,122
3 . 販売用不動産	1		3,471,140			6,105,243			2,634,103
4 . 仕掛販売用不動産	1		21,292,129			25,771,454			4,479,324
5 . 未成工事支出金			2,769,338			3,012,774			243,435
6.貯蔵品			20,328			26,157			5,828
7.前渡金			307,708			383,922			76,213
8.前払費用			65,765			81,100			15,334
9 . 繰延税金資産			372,743			133,239			239,504
10.未収還付消費税						161,730			161,730
11.短期貸付金	2		2,707,267			2,073,687			633,579
12.その他			173,030			320,694			147,663
流動資産合計			48,796,193	80.9		57,247,063	78.3		8,450,870
固定資産									
1 . 有形固定資産									
(1) 建物	1	2,271,864			5,940,567			3,668,702	
減価償却累計額		663,197	1,608,666		789,846	5,150,720		126,649	3,542,053
(2) 構築物	1	17,170			263,820			246,649	
減価償却累計額		5,884	11,286		11,857	251,962		5,973	240,676
(3) 機械装置					87,038			87,038	
減価償却累計額					3,164	83,873		3,164	83,873
(4) 車両運搬具		294,209			357,878			63,669	
減価償却累計額		172,112	122,096		186,952	170,926		14,839	48,830
(5) 工具器具及び備品	ı	330,828			421,928			91,100	
減価償却累計額		223,914	106,913		265,657	156,271		41,742	49,358
(6) 土地	1		5,335,857			5,403,676			67,818
(7)建設仮勘定			708,294	40.4		864,958	40.5		156,664
有形固定資産合計			7,893,114	13.1		12,082,390	16.5		4,189,275
2 . 無形固定資産 (1 ) 借地権			25 000			25 000			
(1) 恒地惟   (2) ソフトウェア			25,000			25,000			10.000
(3) 電話加入権			91,364 7,751			81,275 7,751			10,088
(4)温泉利用権			95,025			92,850			2,175
(5) その他			2,476			2,476	J		2,175
無形固定資産合計			221,617	0.3		209,353	0.3		12,263
3.投資その他の資産			221,017	0.0		200,000	0.0		12,200
(1)投資有価証券			863,210			811,534			51,675
(2) 関係会社株式			2,051,117			2,221,117			170,000
(3) 出資金			5,340			5,340			,,,,,,
(4)関係会社出資金			102,000			102,000			
(5) 固定化債権	7		30,000			30,000			
(6)長期前払費用			5,981			6,988			1,007
(7) 繰延税金資産			212,823			254,084			41,261
(8) その他			189,415			211,479			22,064
貸倒引当金			34,750			37,055			2,305
投資その他の資産合 計			3,425,137	5.7		3,605,490	4.9		180,352
固定資産合計			11,539,869	19.1		15,897,234	21.7		4,357,364
資産合計			60,336,062	100.0		73,144,298	100.0		12,808,235
						. ,			. ,

		前	事業年度			事業年度			活
		(平成1	6年4月30日		(平成1	7年4月30日		垣	沙戏
区分	注記 番号	金額 (	千円)	構成比 (%)	金額 (	千円)	構成比 (%)	金額 (	千円)
(負債の部)									
流動負債									
1 . 支払手形			5,185,292			6,507,506			1,322,214
2 . 買掛金			3,300						3,300
3 . 営業未払金	4		6,297,111			6,517,287			220,176
4 . 短期借入金	1 3		16,368,000			21,918,000			5,550,000
5.一年内償還予定社債						150,000			150,000
6 . 一年内返済予定長期 借入金	1		1,092,632			468,992			623,640
7 . 未払金			734,721			819,309			84,588
8 . 未払費用			264,245			270,673			6,427
9 . 未払法人税等			3,204,424			1,029,698			2,174,725
10 . 未払消費税等			85,830						85,830
11 . 前受金			453,866			298,411			155,455
12.預り金			98,102			120,421			22,319
13. その他			9,972						9,972
流動負債合計 固定負債			33,797,498	56.0		38,100,300	52.1		4,302,802
1.社債						2,850,000			2,850,000
2.長期借入金	1		1,440,778			3,539,186			2,098,408
3.退職給付引当金	·		281,229			311,200			29,971
4.役員退職引当金			546,000			577,400			31,400
5 . その他			12,393			9,389			3,004
固定負債合計			2,280,400	3.8		7,287,175	9.9		5,006,774
負債合計			36,077,898	59.8		45,387,476	62.0		9,309,577
(資本の部)									
資本金	5		1,130,500	1.8		1,130,500	1.5		
資本剰余金	3		1,100,000	1.0		1,100,000	1.0		
資本準備金			872,668			872,668			
資本剰余金合計			872,668	1.4		872,668	1.1		
利益剰余金									
1 . 利益準備金			172,212	0.2		172,212	0.2		
2 . 任意積立金									
(1)特別償却準備金		17,117			13,415			3,702	
(2) 別途積立金		3,000,000	3,017,117		3,000,000	3,013,415			3,702
3. 当期未処分利益			18,816,355			22,350,559			3,534,203
利益剰余金合計			22,005,685	36.4		25,536,186	34.9		3,530,501
その他有価証券評価差 額金	8		249,784	0.4		217,941	0.3		31,843
自己株式	6		474	0.0		474			
資本合計			24,258,164	40.2		27,756,821	38.0		3,498,657
負債・資本合計			60,336,062	100.0		73,144,298	100.0		12,808,235
1									

## (2) 損益計算書

(2) 块皿叶并自		(自 平原	事業年度 成15年 5 月 1	日	当事業年度 (自 平成16年5月1日			増	減
	\ <u>\</u>	至平原	成16年4月30		至平	成17年4月30	日)		
区分	注記番号	金額 (	千円)	百分比 (%)	金額 (	千円)	百分比 (%)	金額 (	千円)
売上高									
1 . 不動産販売高		100,726,452			100,167,422			559,029	
2 . 請負工事収入		548,578			705,410			156,831	
3.賃貸収入		68,195			217,400			149,205	
4 . その他の不動産収入		208,411	101,551,637	100.0	207,526	101,297,760	100.0	884	253,877
売上原価									
1 . 不動産販売原価		82,482,910			83,445,270			962,360	
2 . 請負工事原価		430,759			555,194			124,435	
3 . 賃貸原価		34,720			121,279			86,559	
4.その他の不動産原価		20,444	82,968,834	81.7	519	84,122,265	83.0	19,924	1,153,430
売上総利益			18,582,803	18.3		17,175,494	16.9		1,407,308
販売費及び一般管理費									
1.支払手数料		1,482,133			1,506,349			24,216	
2 . 広告宣伝費		1,979,594			2,412,302			432,707	
3.役員報酬		110,838			112,320			1,482	
4 . 従業員給料手当		1,173,280			1,388,011			214,730	
5.従業員賞与		492,636			423,337			69,298	
6.退職給付引当金繰入 額		40,612			33,132			7,479	
7.役員退職引当金繰入額		28,400			31,400			3,000	
8 . 法定福利費		238,931			224,470			14,460	
9 . 福利厚生費		119,853			140,657			20,803	
10.寄付金					2,500			2,500	
11.通信交通費		185,938			210,867			24,929	
12.減価償却費		173,524			183,245			9,721	
13 . 賃借料		185,863			224,494			38,631	
14.租税公課		472,821			570,319			97,497	
15 . 事業税					53,617			53,617	
16 . 交際費		56,515			70,526			14,011	
17.保険料		24,036			25,411			1,375	
18.消耗品費		103,894			104,998			1,103	
19. 研究開発費	2	44,059			72,413			28,354	
20.その他		362,920	7,275,854	7.2	392,791	8,183,168	8.0	29,870	907,313
営業利益			11,306,949	11.1		8,992,326	8.8		2,314,622

		(自 平原	ī事業年度 成15年 5 月 1 成16年 4 月30		(自 平)	4事業年度 成16年 5 月 1 成17年 4 月30		増	減
区分	注記 番号	金額(		百分比 (%)	金額 (		百分比	金額 (	千円)
営業外収益				, ,			, ,		
1 . 受取利息	3	39,384			39,094			289	
2 . 受取配当金		5,901			14,084			8,183	
3 . 受取賠償金		4,857						4,857	
4 . その他		16,131	66,274	0.1	15,785	68,965	0.0	345	2,691
営業外費用									
1 . 支払利息		410,409			421,637			11,227	
2 . 社債利息					3,254			3,254	
3 . 融資手数料		102,000			25,000			77,000	
4 . 社債発行費					80,050			80,050	
5 . その他		9,969	522,378	0.5	22,652	552,594	0.5	12,683	30,215
経常利益			10,850,844	10.7		8,508,697	8.4		2,342,147
特別利益									
1 . 固定資産売却益	1	2,599						2,599	
2 . 貸倒引当金戻入益		1,497	4,096	0.0				1,497	4,096
特別損失									
1 . 投資有価証券売却損		4,230						4,230	
2 . 投資有価証券評価損		24,501	28,731	0.0				24,501	28,731
税引前当期純利益			10,826,209	10.7		8,508,697	8.4		2,317,512
法人税、住民税及び 事業税		5,003,900			3,473,875			1,530,024	
法人税等調整額		24,078	4,979,821	4.9	220,098	3,693,974	3.6	244,176	1,285,847
当期純利益			5,846,387	5.8		4,814,722	4.7		1,031,664
前期繰越利益			13,361,912			18,162,947			4,801,034
中間配当額			391,945			627,110			235,165
当期未処分利益			18,816,355			22,350,559			3,534,203

## (3) 利益処分案

(0) 13m/C/3/K							
			能年度 年4月期)	当事第 (平成17 <sup>5</sup>		増	減
区分	注記 番号	金額 (	千円)	金額 (	千円)	金額(	千円)
当期未処分利益			18,816,355		22,350,559		3,534,203
任意積立金取崩額							
特別償却準備金取崩額		3,702	3,702	3,702	3,702	-	-
合計			18,820,058		22,354,262		3,534,203
利益処分額							
1 . 配当金		627,110		627,110		-	
2.役員賞与金		30,000		-		30,000	
(うち監査役賞与金)		(5,700)	657,110	-	627,110	5,700	30,000
次期繰越利益			18,162,947		21,727,151		3,564,203
	]					İ	

		,
福口	前事業年度	当事業年度
項目	(自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日)	(自 平成16年5月1日 至 平成17年4月30日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	(1) 子会社株式	(1)子会社株式
п⊤IЩ/J/A	移動平均法による原価法	同左
	(2) その他有価証券	(2) その他有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの
	期末日の市場価格等に基づく時価法	同左
	(評価差額は全部資本直入法により処理 し、売却原価は移動平均法により算定)	
	し、元却原画は移動平均法により昇足)   時価のないもの	時価のないもの
	移動平均法による原価法	同左
2 デリバティブ等の評価基	(1) デリバティブ	(1) デリバティブ
準及び評価方法	時価法	同左
3 たな卸資産の評価基準及び評価方法	(1)販売用不動産、仕掛販売用不動産及び 未成工事支出金	(1)販売用不動産、仕掛販売用不動産及び 未成工事支出金
	不成工事文山並   個別法による原価法	不成工事文山並
	(2) 貯蔵品	(2) 貯蔵品
	最終仕入原価法による原価法	同左
4 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産	(1) 有形固定資産
	定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物	定率法によっております。ただし、平 成10年4月1日以降に取得した建物(建
	附属設備を除く)については、定額法に	物附属設備を除く)及び「江の島アイラー
	よっております。	ンドスパ」の機械装置及び器具備品につ
		いては、定額法によっております。
	なお、主な耐用年数は以下のとおりで	│ なお、主な耐用年数は以下のとおりで │ │ あります。 │
	建物 3年~50年	建物 3年~50年
	(2)無形固定資産	(2)無形固定資産
	定額法によっております。	同左
	なお、ソフトウェア(自社利用)については社内における見込利用可能期間	
	(5年)による定額法によっております。	
	(3)長期前払費用	(3)長期前払費用
	定額法によっております。	同左
5 繰延資産の処理方法		社債発行費
   6 引当金の計上基準	   (1)貸倒引当金	支出時に全額費用処理しております。 (1)貸倒引当金
6 引当金の計上基準 	(「) 貝倒コヨ並   債権の貸倒れによる損失に備えるため、	( ' <i>)</i> 負倒知日並   日左
	一般債権については貸倒実績率により、	192
	貸倒懸念債権等特定の債権については個	
	別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。	
	韻を計工しておりより。   (2) 退職給付引当金	(2)退職給付引当金
	従業員の退職給付に備えるため、当事	同左
	業年度末における退職給付債務の見込額	
	に基づき計上しております。   数理計算上の差異は、各事業年度の発生	
	数性計算工の差異は、行事業中度の先生   時の従業員の平均残存勤務期間以内の一	
	定の年数(3年)の定額法により按分し	
	た額を、それぞれ発生の翌事業年度から	
	費用処理することとしております。また 過去勤務債務は、その発生時の従業員の	
	平均残存勤務期間以内の一定の年数(3	
	年)による定額法により費用処理するこ	
	ととしております。	

P		
項目	前事業年度 (自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日)	当事業年度 (自 平成16年 5 月 1 日 至 平成17年 4 月30日)
	(3)役員退職引当金 役員退職慰労金の支給に備えるため、 役員退職慰労金規程に基づく期末要支給 額を計上しております。	(3)役員退職引当金 同左
7 リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると 認められるもの以外のファイナンス・リー ス取引については、通常の賃貸借取引に係 る方法に準じた会計処理によっております。	同左
8 ヘッジ会計の方法	<ul> <li>(1) ヘッジ会計の方法</li> <li>繰延ヘッジ処理によっております。なお、金利スワップについては特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。</li> <li>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象(ヘッジ手段) 金利スワップ通貨オプション</li> </ul>	<ul><li>(1) ヘッジ会計の方法 同左</li><li>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</li></ul>
	(ヘッジ対象) 借入金の利息 外貨建予定取引 (3) ヘッジ方針 リスク管理に関する内部規程に基づき、 為替相場変動リスク及び金利変動リスク をヘッジしております。 (4) ヘッジの有効性の評価方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点まで の期間において、ヘッジ対象とヘッジ手 段の相場変動の累計を比較し、両者の相 場変動額等を基礎にして判断しておりま す。金利スワップについては、特例処理	(3) ヘッジ方針 同左 (4) ヘッジの有効性の評価方法 同左
9 その他財務諸表作成のための重要な事項	の要件を満たしている場合は、決算日における有効性の評価を省略しております。 消費税及び地方消費税の会計処理 税抜方法によっております。 控除対象外消費税等は、固定資産に係るものは投資その他の資産の「その他」に計上し5年間で均等償却を行っており、それ以外は発生年度の期間費用としております。	消費税及び地方消費税の会計処理 同左

# 追加情報

前事業年度	当事業年度
(自 平成15年5月1日	(自 平成16年 5 月 1 日
至 平成16年4月30日)	至 平成17年 4 月30日)
(貸借対照表)	(損益計算書)
前事業年度において土地に計上しておりました新本社用	「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律
地のうち257,000千円は、不動産事業(販売用マンション	第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以
用地)の用に供するため、当事業年度より仕掛販売用不動	後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入された
産に含めております。	ことに伴い、当事業年度から「法人事業税における外形標
	準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業会計基準委員会 実務対応報告第12号)に従い、法人事業税の付加価値割及び資本割53,617千円を販売費及び一般管理費として処理しております。

(貸借対照表関係)

### 前事業年度 (平成16年4月30日)

# 1 担保に供している資産及びこれに対する債務は次の とおりであります。

#### (1)担保に供している資産

販売用不動産	768,365千円
仕掛販売用不動産	7,065,627
建物	622,065
構築物	8,632
土地	1,540,176
 計	10,004,867

上記のほか、担保権の設定が留保されている販売 用不動産(建物)が616,090千円、販売用不動産 (土地)が708,783千円、仕掛販売用不動産(土地)が9,878,744千円、及び土地が733,603千円あ ります。

(2) 上記に対する債務額

短期借入金 15,432,000千円 1年内返済予定長期借入金 1,092,632 長期借入金 1,440,778 計 17,965,410

2 関係会社に対する債権は次のとおりであります。短期貸付金 2,707,267千円

3

### 4 保証債務

次の関係会社について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	し良初休品と门ってのうるす。			
保証先 金額(千円) 内容				
	パラダイスリゾート(株)	1,856,900	借入債務	

5 会社が発行する株式の総数及び発行済株式数は次の とおりであります。

会社が発行する株式の

**普通株式** 92,480,000株

発行済株式総数 普通株式 31,356,000株

当事業年度 (平成17年4月30日)

1 担保に供している資産及びこれに対する債務は次のとおりであります。

#### (1)担保に供している資産

販売用不動産	266,229千円
仕掛販売用不動産	140,892
建物	4,117,838
構築物	249,516
土地	1,756,138
	6 530 615

上記のほか、担保権の設定が留保されている販売 用不動産(建物)が495,769千円、販売用不動産 (土地)が1,129,073千円、仕掛販売用不動産(土地)が7,998,871千円あります。

(2) 上記に対する債務額

短期借入金 8,322,000千円 1年内返済予定長期借入金 468,992 長期借入金 3,539,186 計 12,330,178

- (3) 上記のほか、取引銀行とのリボルビング・クレジット・ファシリティ契約及びコミットメントライン契約による短期借入金残高が11,831,000千円あり、当該借入により取得した、たな卸資産13,123,965千円を当該借入債務の履行が完了するまで、第三者に対する借入等の債務のために担保提供を行わないとする担保制限条項が付されております。
- 2 関係会社に対する債権は次のとおりであります。短期貸付金 2,073,687千円
- 3 借入金に関し、リボルビング・クレジット・ファシリティ契約10,000,000千円およびコミットメントライン契約5,000,000千円を締結しております。当期末におけるリボルビング・クレジット・ファシリティ契約およびコミットメントライン契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

リボルビング・クレジット・ファシリティ契約 10,000,000千円 コミットメントライン契約 5,000,000 借入実行残高 11,831,000 借入未実行残高 3,169,000

### 4 保証債務

次の関係会社について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

保証先	金額(千円)	内容
パラダイスリゾート(株)	1,856,900	借入債務

5 会社が発行する株式の総数及び発行済株式数は次のとおりであります。

会社が発行する株式の

**普通株式** 125,424,000株

発行済株式総数 普通株式 31,356,000株

前事業年度 (平成16年 4 月30日)		当事業年度 (平成17年 4 月30日)	
6	会社が保有する自己株式の数は次のとおりでありま す。	6 会社が保有する自己株式の数は次のとおりであります。	
	普通株式 460株		普通株式 460株
7	固定化債権は、破産債権、再生債権、更生債権その 他これらに準ずる債権であります。	7	固定化債権は、破産債権、再生債権、更生債権その 他これらに準ずる債権であります。
8	有価証券の時価評価により、純資産額が249,784千 円増加しております。	資産額が249,784千 8 有価証券の時価評価により、純資産額が217,941 円増加しております。	
	なお、当該金額は商法施行規則第124条第3号の規 定により、配当に充当することが制限されておりま		
	す。		す。

# (損益計算書関係)

	前事業年度 (自 平成15年 5 月 1 日 至 平成16年 4 月30日)		当事業年度 (自 平成16年5月1日 至 平成17年4月30日)			
1	固定資産売却益の内訳は次のとおりで	あります。	1			
	土地	2,040千円				
	建物	559				
	計	2,599				
2 研究開発費の総額は次のとおりであります。		2	研究開発費の約	総額は次のとおりであり	ります。	
	一般管理費に含まれる研究開発費	44,059千円		一般管理費に	含まれる研究開発費	72,413千円
3	関係会社に対する事項は次のとおりで	あります。	3	関係会社に対す	する事項は次のとおりて	<b>ごあります。</b>
	受取利息	38,547千円		受取利息		38,305千円

### 前事業年度 (自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	工具器具及び備品	
取得価額相当額	36,810千円	
減価償却累計額相当額	14,387	
期末残高相当額	22,422	

なお、取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が 有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支 払利子込み法により算定しております。

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年内	6,949千円
1 年超	15,472
合計	22,422

なお、未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

(3) 支払リース料及び減価償却費相当額

支払リース料6,876千円減価償却費相当額6,876

(4)減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額 法によっております。 当事業年度 (自 平成16年5月1日 至 平成17年4月30日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額 及び期末残高相当額

	工具器具及 び備品	機械装置及 び運搬具	合計
取得価額相 当額	33,276千円	187,223千円	220,499千円
減価償却累 計額相当額	17,803	21,040	38,843
期末残高相 当額	15,472	166,183	181,655
•			

同左

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年内	31,532千円
1 年超	150,123
	181,655

同左

(3) 支払リース料及び減価償却費相当額

支払リース料27,989千円減価償却費相当額27,989

(4)減価償却費相当額の算定方法

同左

### 有価証券

前事業年度(自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日) 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当事業年度(自 平成16年5月1日 至 平成17年4月30日) 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度 (平成16年4月30	日)	当事業年度 (平成17年 4 月30日)		
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の 内訳	の発生の主な原因別の	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の 内訳		
(1)流動資産		(1)流動資産		
繰延税金資産		繰延税金資産		
未払事業税否認	255,866千円	未払事業税否認	48,654千円	
租税公課未精算額	137	未払費用否認額	73,895	
未払費用否認額	104,027	その他	10,689	
その他	12,711	繰延税金資産合計	133,239	
繰延税金資産合計	372,743	繰延税金資産の純額	133,239	
繰延税金資産の純額	372,743			
		(2) 固定資産		
(2)固定資産		繰延税金資産		
繰延税金資産		退職給付引当金	124,926	
退職給付引当金	108,648	役員退職引当金	228,978	
役員退職引当金	222,222	貸倒引当金繰入超過額	10,883	
貸倒引当金繰入超過額	10,332	投資有価証券評価損否認	12,326	
投資有価証券評価損否認	12,326	会員権評価損否認	24,067	
会員権評価損否認	24,067	その他	9,150	
その他	15,870	繰延税金資産合計	410,332	
繰延税金資産合計	393,467	繰延税金負債		
繰延税金負債		特別償却準備金	6,665	
特別償却準備金	9,207	その他有価証券評価差額金	149,582	
その他有価証券評価差額金	171,437	繰延税金負債合計	156,247	
繰延税金負債合計	180,644	繰延税金資産の純額	254,084千円	
繰延税金資産の純額	212,823千円			
2 法定実効税率と税効果会計適用行 との間に生じた差異の原因となった。	後の法人税等の負担率	┃ ┃2 法定実効税率と税効果会計適用ℓ ┃ との間に生じた差異の原因となった。	後の法人税等の負担率 たさな項目別の内部	
との間に生した差異の原因となう。   法定実効税率	た主な項目別の内訳 42.1%	この間に生した差異の原因となった   法定実効税率	に土み頃日別の内訳 40.7%	
(調整)	72.170	(調整)	70.770	
同族会社の留保金課税	3.8	「剛定)   同族会社の留保金課税	2.2	
住民税均等割	0.1	住民税均等割	0.2	
交際費等永久に損金に算入され	-	交際費等永久に損金に算入され		
ない項目	0.3	ない項目	0.4	
税率変更による期末繰延税金資	2.4	その他	0.1	
産の修正	0.1	税効果会計適用後の法人税等の	40. 40/	
その他	0.4	負担率	43.4%	
税効果会計適用後の法人税等の 負担率	46.0%			

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日)		当事業年度 (自 平成16年 5 月 1 日 至 平成17年 4 月30日)	
1株当たり純資産額	772円69銭	1株当たり純資産額	885円23銭
1 株当たり当期純利益	185円50銭	1 株当たり当期純利益	153円55銭
当社は、平成16年4月5日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。 なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。			
1株当たり純資産額	603円11銭		
1株当たり当期純利益	123円84銭		

(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2.1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成15年 5 月 1 日 至 平成16年 4 月30日)	当事業年度 (自 平成16年 5 月 1 日 至 平成17年 4 月30日)
当期純利益(千円)	5,846,387	4,814,722
普通株主に帰属しない金額(千円)	30,000	-
(うち利益処分による役員賞与金)	(30,000)	( - )
普通株式に係る当期純利益(千円)	5,816,387	4,814,722
普通株式の期中平均株式数(株)	31,355,600	31,355,540

## (重要な後発事象)

(里安は仮究争家)		
前事業年度 (自 平成15年5月1日 至 平成16年4月30日)	当事業年度 (自 平成16年 5 月 1 日 至 平成17年 4 月30日)	
該当事項はありません。	該当事項はありません。	

# 7.役員の異動

- (1) 代表者の異動該当事項はありません。
- (2) その他の役員の異動該当事項はありません。

退任予定取締役 該当事項はありません。

新任監査役候補 該当事項はありません。

退任予定監査役 該当事項はありません。